



hiroba  
コミわか広場



わ  
か  
つ  
き  
私たちが、  
変えます。  
創ります。  
協働参画社会。

第93号(平成30年1月1日) ◆発行 若槻地区住民自治協議会「コミュニティわかつき」会長 糟谷 英勝  
◆事務局 TEL/FAX 266-0034 メール komiwaka@bj.wakwak.com HP:URL:http://www.komiwaka.com/

## 若槻の未来を拓く年に

若槻地区住民自治協議会 会長 糟谷 英勝



### 新年明けましておめでとうございます。

皆様には、恙なく新春をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げます。  
旧年中は、若槻地区住民自治協議会の諸事業に対し、力強いご支援を賜り、誠にありがとうございました。本年も、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

さて、今年の若槻地区では、新年早々にドカ雪に見舞われたのを始め、7月 8月には地区内にも避難勧告が出るほどのゲリラ豪雨、そして9月から10月にかけて強風や長雨・日照不足等々の異常気象に見舞われ、一部地域で浸水被害や農作物への被害が出ましたが、地区全体としては大きな災害には至らず、比較的平穏な一年であったと思います。しかし一方で、早朝からの耳慣れない不気味な音Jアラートの響きに、安眠を妨げられた方も多かったかと思えます。近隣国からの核ミサイル襲来の可能性、ほんの数年前までこのよう事態は想像もしなかったことであり、「平和」というものが決して恒久的なものではないことを思い知らされるとともに、ひとり一人が平和を願い、それを守るための努力をすることの大切さに、改めて気づかされた年でもありました。

一方、「コミわか」の活動を顧みますと、平成29年度は、平成25年度からの五ヶ年計画として策定された「若槻まちづくり計画」の最終年度に当たり、各分野別にこれまでの施策の達成度を評価するとともに、その反省を活かしながら、平成30年度から始まる5年間の、コミわかの新たな目標と施策を示す「第二次若槻まちづくり計画」の策定に取り組んでまいりました。まもなくその計画案をご提示し、皆様からのご意見をいただく段取りになっております。

またこの間、コミわか正副会長が市庁舎を訪れ、加藤長野市長との懇談会に望みました。懇談会では、コミュニティセンターの建て替え、若槻いこいの家と北部市民プールの老朽化への対応、通学路・生活道路の除雪対応などの諸問題を話し合いました。この話し合いは、平成30年度に開催が予定されている、地区の公共施設について考える「若槻地区市民ワークショップ」への橋渡しになったものと考えております。



明けて平成30年、「コミわか」では、いよいよ始動する新しい「まちづくり計画」に合わせて、既存事業のリニューアルと新規事業の立ち上げの準備を促進し、新年度事業がよりスムーズに展開できるよう努めますとともに、この年を若槻地区の未来を拓く端緒の年とするために努力を重ねてまいりますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が、皆様にとりまして健康で幸多き年となりますことをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。